



めだか のすめる たんぼ づくりをめざして

宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-3 2

Tel 0225(95)1411 (内)473

Fax 0225(96)4880

E-mail iss-s-kt@pref.miyagi.jp

URL http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/

編集・発行 (創刊:平成15年2月)
宮城県石巻地方振興事務所 農業農村整備部

北赤井地区地域活動づくり推進委員会の活動について(田んぼの学校)

平成16年5月26日(水)に、田んぼの学校が開校し、田植えが行われました。昨年度からスタートした赤井小学校の田んぼの学校は、北赤井地区地域活動づくり推進委員会の協力の下、小学校5年生39名が総合学習として取り組んでいます。今回の田植えでは、赤井小学校前の田んぼに、もち米の苗を手植えました。

また、6月29日(火)には、田んぼの草取りや生きもの探しを実施しました。フナやザリガニ、カエルなどを捕獲し、田んぼに沢山の生きものが生息していることを学びました。

今後は、稲刈りを10月20日に、脱穀初すりを11月2日に実施し、11月5日の収穫祭では、同日開催される持久走大会の後、収穫したもち米を使って餅つきを行い、全校生徒や父兄らと収穫の喜びを分かち合う予定です。

平成16年7月1日(木)に、東京都で農村環境整備センター主催により「田んぼの学校」指導者養成の研修会が開催されました。そこで北赤井地区の「田んぼの学校」の取り組みが紹介され、矢本町の五野井技術主幹が講師として招かれ、北赤井地区の取り組みをPRしてきました。



研修会の様子(7月1日)

北赤井地区地域活動づくり推進委員会とは?

当委員会は、H8~H13に地域の将来構想づくりなど様々な活動を展開してきたアグリベース推進委員会が解散し、平成14年9月に同推進委員会を中心とし、新たに赤井小PTA教員を加え、地域の環境保全等新たな視点から地域づくりに取り組むため新たに組織されました。

担当: 計画調整班



田植えの様子(5月26日)



生きもの探しの様子(6月29日)

知っていますか?

農業農村整備部のホームページ...

石巻地方振興事務所農業農村整備部のホームページはご覧になったことはありますか?

農業農村整備部のページでは、石巻管内のほ場整備についての解説や、石巻管内の事業概要や「地域産業の学習講座」の情報などを掲載しています。

詳しい情報を見やすく・リアルタイムに提供し、関係機関の皆さんだけでなく、一般の方々なども広く活用できるものにしていきたいと考えています。

アクセスは石巻地方振興事務所HP (<http://www.pref.miyagi.jp/issgsin/>) から「農業農村整備部」をクリックしてください。



NougyouNouson

いしのまきNN通信



上品山山頂より望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、農業農村整備事業に対する理解を得ることを目的に、年3回程度発行しております。掲載希望の情報等がありましたら計画調整班までご一報ください。今後ともよろしく申し上げます。

経営体育成基盤整備事業 「真野大谷地」地区の採択について

経営体育成基盤整備事業「真野大谷地」地区が平成16年度に新規採択されました。真野大谷地地区では、昭和20年代に10a区画に整備されていましたが農道や用排水の利便性が低く、近代的農業経営に支障をきたしていたため、本事業の導入を契機とし、望ましい農業構造の実現、将来を担う担い手の育成等を目指します。



真野大谷地地区

第4号の目次:

「真野大谷地」地区の採択について	1
石巻管内農地集積情報	2
アグリビジネス創造型生産基盤整備支援事業	3
北赤井地区 田んぼの学校について	4
農業農村整備部のホームページについて	4

真野大谷地地区(石巻市)の事業概要

真野大谷地(第1期)

受益面積: 68.7 ha、事業費: 962百万円、工期: 平成16~21年度予定

真野大谷地(第2期) 2期地区はH18採択予定

受益面積: 91.3 ha、事業費: 1,064百万円、工期: 平成18~23年度予定

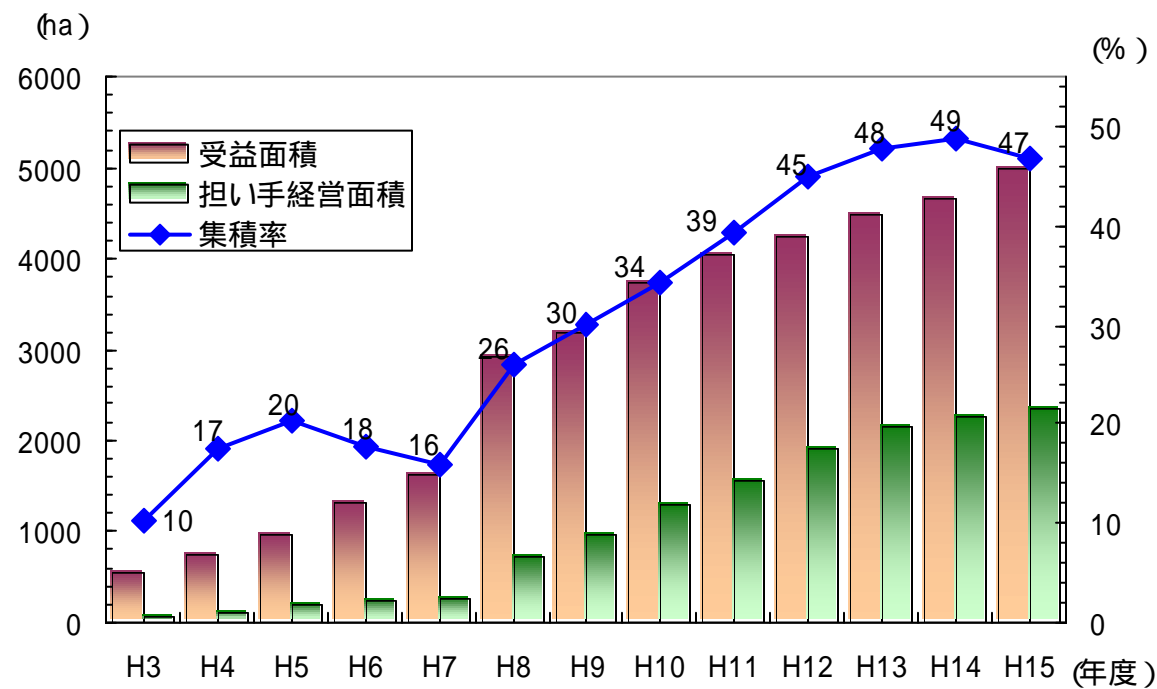
農業構造の再編を目指し、本地区では、平成25年度までに個別担い手14名に対し農地の62.1%にあたる99.4haを集積する計画です。これにより、水田の高度利用及び生産コストの削減による生産性の向上を図り、米政策改革大綱に即した営農形態への移行促進を図ります。

担当: 農村整備班, 計画調整班

石巻管内農地集積情報

H15年度石巻管内農地集積状況について

石巻管内では、昭和59年度から県営ほ場整備事業26地区(うち完了15地区)、経営体育成基盤整備事業1地区を実施しております。このうち、21世紀型水田農業モデルほ場整備促進事業(平成3年から)の実施地区8地区、担い手育成基盤整備関連流動化促進事業(平成5年から)の実施地区15地区及び経営体育成基盤整備事業1地区については、事業要件等により担い手等への農地の集積が義務づけられております。管内の農地集積状況は下図のとおりです。平成15年度は、全体で46.8%の担い手のシェアとなっており、県全体の42.9%を上回っております。平成14年度に比べて2ポイントほどシェアが低下したのは、新規地区により受益面積が増大したためです。



H16年度石巻地域農地集積推進チームの活動について

管内の農地集積を推進するため、県、関係市町及び土地改良区並びに土地連、農業公社等の支援機関と推進チームを結成しております。活動内容としては、担当者会議、戦略会議、先進地視察研修等をつうじて、モデル地区である桃生町8期地区、北赤井地区をはじめとした関連全地区の課題等の情報収集、課題解決のための地区活動を支援して参ります。



担当者会議



戦略会議(石巻市)

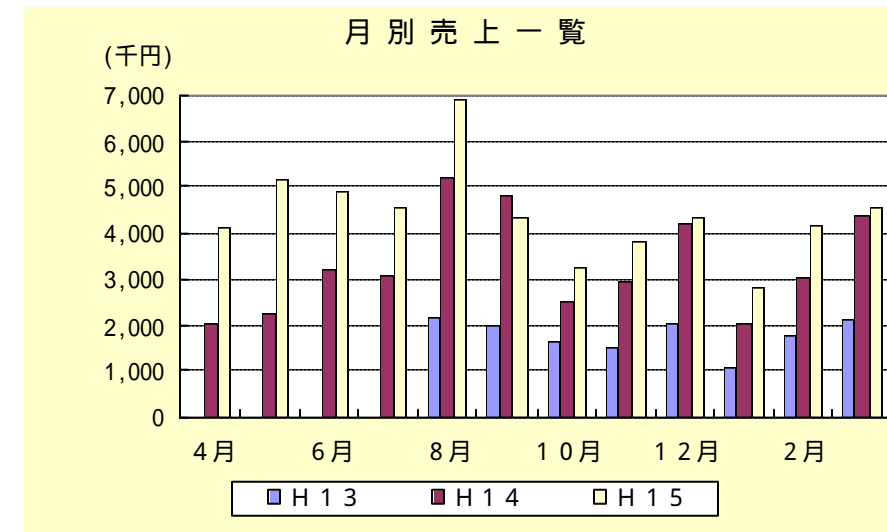
担当：計画調整班

アグリビジネス創造型生産基盤整備支援事業について

本事業は、ほ場整備を契機とした生産基盤、加工・販売施設、農村空間等が一体となった整備計画の策定など、アグリビジネスの振興と農業経営の振興を図るためのものです。

1. 河南地区(H13~H15)

河南町では、ほ場整備を契機として平成13年度より本事業を開始し、同年度に全体計画立案、直売所「やさいっ娘」の設計・運営を開始し、平成14年度には「やさいっ娘」を増設し売り上げの向上を図った結果、平成15年度では、年間5千万円を超える売り上げを達成しました。



【直売所の売り上げ実績】

平成13年度
年間 15,107千円
月平均 1,890千円
平成14年度
年間 38,751千円
月平均 3,230千円
平成15年度
年間 52,906千円
月平均 4,490千円

平成16年度以降の推進計画として、ほ場整備事業の推進による新たな土地利用作物の生産など新たな特産物の開発や、イベントの定期開催、体験型農業の推進などを掲げ、将来的には年間売り上げ6千万円を目標に掲げています。

2. 河北地区(H16~H17予定)

河北町では、平成17年3月に道の駅「上品の郷(仮称)」がオープン予定ですが、その目玉として、農産物直売所の設置を計画しています。

大谷地・大川・飯野川地区と、ほ場整備事業が進むなか、ほ場整備を契機としたアグリビジネスの展開による農家収入の拡大などを目指しており、「アグリビジネス創造型生産基盤整備支援事業」の導入により、先進地視察研修や新規作物の試験栽培などを実施し、生産体制の整備や販売戦略の検討を進める予定です。